

スマート農業 インフォメーション

12
2024

第2号

スマート農業のトピックを配信！

研究開発型農業カンパニー あさい農園が行う スマート農業技術を活用したミニトマト栽培

9月30日に開催されたIPCSEA（スマート農業イノベーション推進会議）設立準備会合で講演いただいた浅井さんにお話しを伺うため、三重県の（株）あさい農園、（株）アグリッド（ミニトマト栽培など）を訪問しました。

IPCSEA設立準備会合の講演では、「スマート農業は目的ではなく、手段である」とのお話がありました。あさい農園がスマート農業によって実現したい目的を伺いました。

スマート農業技術は最適化のための手段！

「何のためにスマート農業技術を入れるのか、目的をはっきりさせることが大切だと考えています。植物は正直なので、よい環境を整えればよく育つ。純光合成量を最大化し、それを果実や葉、根などに最適に分配する。そのためにハウス内の環境制御技術を駆使して、最適化に取り組みます。まず、地下部（根域）は、培地の標準化により物理性・生物性を、養液管理により化学性をそれぞれ最適化することで、強い根が育ち、水・肥料をよく吸い上げます。それを各器官に分配するための環境制御、光合成量を最適化するためであればCO₂施用やLED補光ライトも使い、純光合成量の最大化を目指しています。しかし、常にリアルタイムで最適条件は変化します。そこで、ハウス環境や植物体の常時モニタリングと環境制御によって最適環境を実現することになります。スマート農業は目的ではありません。環境を最適化することが目的で、その手段としてスマート農業技術を活用しています。」



IPCSEAを成功事例や失敗事例の共有の場に

「イノベーションによって何かを生み出すための場を提供するのがプラットフォームの意味です。IPCSEAも、共通の目的を持つ人たちが集まって1つの方向に向かうことで、イノベーションで生み出せるものも大きくなるし、期待感も出るのではないかと思います。」
「改善のためにスマート農業などの手段がありますが、手段があることを知らない人も多いです。IPCSEAでは、経営形態や規模ごとに、どのような手段があるか、そのメリット・デメリット、成功事例や失敗事例を共有できる場になるとよいと考えています。」



取材では、このほかにも、
・データを活用した農業の可能性（データ分析可能なソフトウェアの導入）
・異業種との連携によるイノベーション（あさい農園とデンソーが共同出資する「アグリッド」での自動収穫ロボットの実証実験）
・あさい農園グループの企業理念
などを伺いました。

取材記事の全体版は、[IPCSEAホームページ](#)を御覧ください。



【スマート農業推進フォーラム】

スマート農業に係る新技術を対象としたテーマを設定し、研究者や農業者を登壇者とした講演、ポスター発表、パネルディスカッション等を行います。

既に実施された地区では、多くの農業者、関係事業者、研究者などのみなさまに御参加いただきました。

⇒詳細は「スマート農業推進フォーラム 2024 in ○○（地区名）」で検索

北海道（帯広市）	12月19日（木）
東北（仙台市）	12月18日（水）
関東（さいたま市）	12月3日（火）
北陸（金沢市）	12月20日（金）
東海（名古屋市）	12月17日（火）
近畿（大阪市）	12月3日（火）
中国四国（オンライン）	11月15日（金）
九州（久留米市）	12月20日（金）
沖縄（那覇市）	12月10日（火）

【第1回 フェーズ3 基金事業 マッチングカンファレンス】

農林水産省においては、中小企業イノベーション創出推進事業（フェーズ3 基金事業）により、スタートアップの支援をしています。

本事業の採択スタートアップのプロジェクト成果の円滑な社会実装を促進する観点から、関連する業界や企業等との交流を創ることを目的として、イベントを開催します。

日時 12月26日（木）14時～18時

会場 農林水産省 7階

（ピッチイベントはZOOM参加も可）

◆ピッチイベント◆

スタートアップによるピッチを行います。

◆マッチングイベント◆

スタートアップごとに設置するブースにおいて、ポスター展示や個別の相談・意見交換等を実施します。機械や設備等の展示も実施予定です。

詳細・申込みはこちら



スマート農業技術活用促進法 ホームページはこちら

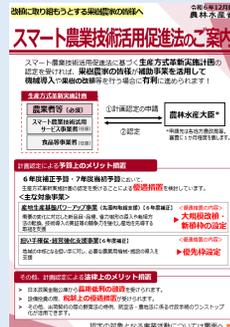
活用場面別に、制度のポイントをまとめたチラシを作成しました。ぜひ御活用ください。

★説明会・研修会に講師を派遣します！★

法律のポイント、スマート農業技術の活用事例など、農林水産省担当者が説明に伺います。御要望は、お近くの地方農政局等に御相談ください。

【活用場面別チラシ】

- 施設園芸農家向け
- 加工・業務用野菜の産地形成
- 果樹農家向け
- 茶農家向け
- 畜産農家向け
- 集出荷貯蔵施設等の施設整備



次号以降の配信

最新の計画認定案件などの掲載を予定しています。

本紙への御意見・御感想、取り上げてほしいテーマのほか、みなさまが取り組まれているスマート農業技術の活用について紹介してほしい！といった声もお待ちしています。

【発行】農林水産省大臣官房政策課技術政策室
（IPCSA事務局）

メールアドレス：ipcsa_jimukyoku@ml.affrc.go.jp